

オーケストリオ・チューリッヒのメンバーによる 「室内楽ワークショップ2008 in 軽井沢」

スイス・チューリッヒを拠点にヨーロッパ各地で30年に渡り演奏活動続ける、室内楽のスペシャリストが、長野県軽井沢に於いて室内楽の合宿を行います。

このワークショップでは参加者がそれぞれのレベルにおいて、自分の持っているテクニックを作品の為に、どう最大限に生かすことができるかを目的としています。

理にかなった練習方法と演奏の楽しみを知ることへのアプローチを、経験に基づき指導します。

9月下旬に東京に於いて、ワークショップ参加者による公開演奏会を開催。
(合宿中に選考を行います)

日時	2008年8月24日(日)より 3泊4日 9月後半 東京にて合宿参加者による公開演奏会
場所	長野県軽井沢 友愛山荘(貸切)
費用	3万円(講習料+諸経費を含む) 別途宿泊料一泊2食付6,000円

- ・定員30名。個人(グループ参加も可)
- ・参加可能な楽器/ヴァイオリン、ピアノ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、ピアノ、ギター、アコーディオン、声楽。
- ・練習曲及び独奏曲1~2曲は各々持参(グループ参加は室内楽曲)。
- ・合宿で使用する曲は、合宿2ヶ月前までに郵送(どのような編成で誰が奏するかはこちらで指定します)。

室内楽曲目例(講師も参加)

モーツァルト/フルート四重奏、クーブラン/トリオ(Hr,VI,Kb)、ハイドン/弦楽四重奏、ベートーヴェン/七重奏、弦楽五重奏、ソナタ(VI, Pf)(Vc,Pf)、シューベルト/鱒、八重奏、R.シュトラウス/ティルオイレンシュピーゲル(VI,Kl,Hr,Fg,Kb)、グリーク/ホルベルク組曲(VI,Kb,Pf)、ラベル/亡き王女のパヴァーヌ(Fl,Kb,Pf)(VI,Git,Kb)、ショスタコーヴィチ/ワルツ(Ob,Kl,Va,Vc,Kb)、シェドリン/3つの音楽(VI,Vc,Pf)、W.ギーガー/アルペストレ(VI,Hr,2Kb)(VI,Git,Kb)、クリスマスキャロルより(Kl,Hr,VI,Kb)、歌曲(歌、弦楽器,Pf)、ボッケリーニ/ギター五重奏など

* 他に初級から上級まで色々ですが無調の曲は除きます。

室内楽ワークショップ2006 in 戸狩 参加者の声

「音楽って、そこにあるものじゃなく作るもの」なんだということを知り、「聴く」という行為がちょっとできるようになり、それから、楽器がうまくなりたい!という気持ちで、音楽をするためにどんなふうに楽器を弾けるかというふうに向いたという収穫があり、心が広がった気分です。(VI H.Y.さん)

午前3時間・午後3時間・夜の公開レッスン、その間も自主練・分奏が行われたりと、本当にたっぷり時間ごとに区切った各セッションの中で音作りをしていき、講師陣の適切なアドバイスを受けることができました。また、ほんのわずかな休憩時間でさえも、先生方はひとりひとりととても気軽に話され、細やかに指導されていた姿が印象的でした。(Sp. I.U.さん)

ワークショップの名の通り、ほんの少しの意識の差(他のパートを良く聴く、自分の音の役割を意識する...)で音楽が生まれ変わることが体験できた合宿でした。(Vc. S.S.さん)

講師陣

 河村典子	ヴァイオリン オーケストリオ	<p>3歳よりヴァイオリンを始め、毎日学生音楽コンクール全国第一位。桐朋学園に学んだ後、旧西ドイツ政府の奨学金を受け、ミュンヘン、エッセン、ベルリンの各音楽大学で研鑽を積む。チューリッヒ・オペラハウス管弦楽団に8年間在籍。1978年ダルムシュタット現代音楽祭においてクラニッヒシュタイナー音楽賞を獲得、スイス音楽評議会のKlangmobil賞受賞。NHK・FM「ベストオブクラシック」「名曲リサイタル」NHK・BS第2「クラシック倶楽部」等、多数出演。2006年より弦楽器専門誌「ストリング」にエッセイ「奏意工夫」連載。</p>
白土文雄 	コントラバス オーケストリオ	<p>ミュンヘン音楽大卒。読売交響楽団、チューリッヒ・トシハ・レオーケストラ歴任。在欧30年。ドイツバハソリスト、ミュンヘンプロアルテ、ルツェルン祝祭弦楽合奏団等の演奏活動に参加。サイトウキネンオーケストラヨーロッパ公演参加。ジュネーヴ国際音楽コンクールコントラバス部門、グレゴラ国際コントラバスコンクール審査員を歴任。オーケストリオ、リ・アルティジャー二、アンサンブル「時の庭」の創立メンバー。</p>
ワルター・ギーガー 	ギター オーケストリオ	<p>創作と演奏の自己完結を試みる室内楽トリオの存在はワルター・ギーガーなくしては語れない。早くから民族音楽、ダンス音楽に親しむ。青春時代はロックミュージックへの興味にめざめ活発な演奏活動をおこなう。後にクラシックギターに転向、コンツェルトディプロムを取得後、ジュリアン・ブリームの教えをうける。民族音楽研修のためスペインに滞在、同時に作曲学も学び本格的な創作演奏活動を開始する。その作品は声楽家E. シュヴァルツコップ女史、尺八奏者横山勝也氏、指揮者V. アシュケナージ氏、G. ビヒラー氏等の高い評価をうけている。劇場音楽、ダンス音楽、映画や教会音楽なども多数手がけ、そのファンタジーに富んだ作風には定評がある。</p>
小野崎純 	チェロ 特別講師	<p>第34回日本音楽コンクールチェロ部門第1位入賞。ベルリン音楽大学卒業。NHK交響楽団にチェロ首席奏者として入団。N響弦楽部首席奏者による「N響室内合奏団」のメンバーとしてマタチッチ氏、ウェラー氏と共演、その後も多数の室内楽活動を行う。ユネスコ音楽機関のひとつ、青少年音楽世界連合の日本支部の指導員、審査員として若い音楽家の育成に努める。日本音楽コンクール、ジュネーヴ国際音楽コンクール他海外における著名コンクールの審査員を務める。国立音楽大学名誉教授。</p>

お申し込み、お問合せ/ オフィスN <室内楽 Labor> <http://www.chambermusic.jp>
 2008年4月より受付 Tel&Fax 042-378-3306 E-メール nrcnt441@yahoo.co.jp

お申し込み

氏名 グループ名 専攻楽器 練習及びソロの曲名 音楽歴	年齢	住所 電話 E - メール 希望（曲名、作曲家等）
---	----	--